

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連  (東海)	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・これから更に景気は良くなる。		
		商店街（代表者）	・消費税増税を控えているので、耐久消費財の買換えがある程度進む。リオデジャネイロオリンピックでビデオレコーダーの需要が高まる。		
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・伊勢志摩サミットの開幕後に期待する。		
		百貨店（売場主任）	・週末やゴールデンウィークは百貨店でも催事が増える。遠くに行けない人が近場で済ませるため来客数は増える。天気は左右されず来客数も増える時期となり、売上も安定し業況も少しずつ落ち着いてくる。		
		スーパー（経営者）	・伊勢志摩サミット効果で来客数の増加に期待している。		
		スーパー（販売担当）	・季節が変わり、購買意欲が高まる。		
		コンビニ（エリア担当）	・5～6月にハード改善計画の実施等、定期的な販促施策を計画中である。一層の客単価、購入点数の改善を実現する。		
		コンビニ（エリア担当）	・来客数は前年実績を割っているが、客単価が高くなっており、注力商品に対する反応も改善傾向である。		
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・季節の変化で、客が必要とする物も変わる。		
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・3か月先にもイベントがあり、ボーナス支給も近づく。今は下見の状態であるが、それ以降はかなり商品が動く。		
		旅行代理店（経営者）	・5月には伊勢志摩サミットも終わるが、特に悪い材料はないので、少しは良くなる。		
		タクシー運転手	・伊勢志摩サミットも近づき、8月から始まるリオデジャネイロオリンピック等、明るいムードの話題もあるので、良くなって欲しいという希望を持っている。		
		テーマパーク（職員）	・2020年の東京オリンピックまではインパウンドの客が増える。		
		ゴルフ場（企画担当）	・今月の来客数は、予算と比べると悪いが、前年同月と比べると悪くはなく、2～3か月先の梅雨の時期も、来客数は例年並みの推移が見込まれる。景気は変わらず、業況は今年よりもやや良くなる。		
		美容室（経営者）	・6～7月になると蒸し暑くなってきて、パーマやカットの客が増えてくるため、多少は良くなる。		
		美顔美容室（経営者）	・キャンペーンが7月末までであるため、少しは新規客が増える。		
		変わらない		商店街（代表者）	・客には購買意欲はみられるが、参議院選挙等の影響も出てきて、全体的には変わらない。
				商店街（代表者）	・メーカーの話では、物の動きがかなり悪い。
				商店街（代表者）	・景気が上向きにも下向きにも変わるような要因が見当たらない。
商店街（代表者）	・景気が劇的に変化する要因が考えられないので、3か月後も特に変わりはない。				
商店街（代表者）	・ここ数か月、必要な物以外は全く売れていないため、販売量や売上高の増加につながらない。				
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・5月は伊勢志摩サミットがあり、交通規制等で個人消費が落ち込む。				
一般小売店〔生花〕（経営者）	・収入が増えていると感じる人は少なく、これからもあまり期待はできない。				
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・ギフト需要では、財布のひもは固く、3か月先もこのまま推移をする。				
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。				
百貨店（経理担当）	・春闘の賃上げ効果は限定的で、低迷する株価や熊本地震の影響等によって、消費マインドにも改善の兆しがみられない。				
百貨店（販売促進担当）	・現状からの変動要因が見当たらないので、当面は変わらない。				
百貨店（販売担当）	・百貨店や自社でのイベント実施による購買意欲の喚起が必要である。特に自家需要が売上拡大のかぎとなる。今後の施策次第であり、大きく好転することはないかもしれないが、見通しは悪くない。				
スーパー（経営者）	・3か月先は、原油価格は上昇傾向となり、原油・ガス産出国はマイナス要素が小さくなり、良い影響が出てくる。我が国の輸出は、円高になり欧米等先進国への輸出額が縮小し、国内景気にも悪い影響を与える。7月になっても全体的には景気は良ならず、財政政策が早期に必要なようになってくる。				
スーパー（店長）	・熊本地震の影響で、商品の入荷状況が不安定になっている。				

スーパー（店長）	・天候の変化で売上にも変化がある。動きのある商品も変わっており、夏場にある程度暑くなれば、数字も伸びるが、冷夏になれば非常に厳しい状況になる。商品の値上げが依然続いており、客は不安感を持っている。
スーパー（店員）	・ここ数か月、購入点数・客単価は低く、販売量も少ない状況が続いており、今後も容易には変わってくる様子はない。
スーパー（販売促進担当）	・ここ数年、大きな売上の上昇はない状況が続いている。
スーパー（支店長）	・熊本地震等の影響も多少あるのか、買い控えがあるように感じる。あまり良くなる傾向にあるとは思えない。
スーパー（営業企画）	・伊勢志摩サミット、リオデジャネイロオリンピック等の明るい話題によって若干上向き期待はあるが、堅調な消費から大きな変化はない。
スーパー（企画・経営担当）	・景気が上向きような話題が出てこない。消費税の増税次第で、家庭の支出が抑えられる。
スーパー（人事担当）	・夏のボーナスが増額となれば、食費にも多少の動きが出る。
スーパー（販売担当）	・特売商品は売れるが、通常価格商品の売行きが良くないという傾向が続く。
コンビニ（エリア担当）	・今後も4月と同様の状況は継続する。景気回復には時間がかかる。
コンビニ（店長）	・夜は、サラリーマン等の人出が多くなる傾向にあるが、街を歩く人もまばらな日もある。外出や消費を控える傾向が続いている。
衣料品専門店（経営者）	・購入客はなじみ客ばかりである。客から身体の不調や家族の介護等で外出がめっきり減ったという話を聞くと、積極的なアプローチがしづらくなってきている。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・今の業界の流れからみる限り、回復基調とは考えづらい。
乗用車販売店（経営者）	・消費を伸ばす要因は見当たらない。
乗用車販売店（経営者）	・この先も景気に影響するような要素が見受けられず、むしろ、現状の水準で安定してしまったようにも感じる。
乗用車販売店（経営者）	・現状のような伸び悩みの状況が、今後数か月は続く。
乗用車販売店（従業員）	・このまま良い状態が続く。悪い要素は特にない。
乗用車販売店（従業員）	・熊本地震の影響が具体化するようになってきているが、それがどのように出てくるのかわからない。
乗用車販売店（従業員）	・近いうちに景気が良くなる要因が出てくるとは思えない。あまり良くない状態がこのまま続く。
乗用車販売店（従業員）	・新車販売に関しては、新型車種の発表もなく、現行の車種を根気よく販売するしかない。熊本地震で納期も大幅に遅れており、購買意欲は減少している。
乗用車販売店（総務担当）	・景気の先行きが不安定なため、企業も個人も投資や消費には積極的に動きづらいと思われる。
乗用車販売店（経理担当）	・4月に新型車種の発売があったが、思ったほどの売行きではない。
乗用車販売店（販売担当）	・新型車種の発表もなく、今後どうなるかはわからない。
住関連専門店（営業担当）	・新築マンションや新築住宅が今一つである。公共工事や民間企業の新設等についても様子見の状況である。しかし、リフォーム工事や大規模改修工事は増加しており、先行きも横ばいである。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・政局も経済も正直なところ先行きはわからない。自動車産業を中心に、落ち着かない状態が続く。
高級レストラン（役員）	・宴会等の予約状況に変化はない。予約なしのフリー客は低迷したままで、前年同期比では横ばいが続く見込みである。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・まずは現状維持を目指し、イベントに力を入れようと考えている。
一般レストラン（経営者）	・当店では圧倒的にブルーカラーの客が多いが、その客層の家計状況は、あまり良くない。
一般レストラン（経営者）	・消費税の増税や人手不足が先行きには懸念される。
一般レストラン（従業員）	・夏までは特に気候等に大きな変化はなく、現状のままである。
観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先の予約は、宿泊に関しては前年比で15～20%増となっている。会食は、前年の80～90%と伸び悩み、この状況は現状と変わらない。地元経済が停滞し飲食への支出が厳しい状況から、変化は見込めない。

観光型ホテル（販売担当）	・夏ごろの状況はまだ何ともわからないが、この先1～2か月の受注状況は前年同期並みとなっており、今月と変わりない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から先行きも変わらないと見込んでいる。
都市型ホテル（支配人）	・好調が続く宿泊は、ビジネス、レジャーの目的にかかわらず外国人客が支えている。国内の客の動きは力強くない。
都市型ホテル（経理担当）	・予約状況から前年並みと見込んでいる。
旅行代理店（経営者）	・取引先では景気の良くない企業の割合が多い。熊本地震の影響が収束すれば、ある程度は復興の動きが景気に反映されて、上向きになると思われる。
旅行代理店（経営者）	・夏休みに入っても、ゴールデンウィークと同様に直前の予約に期待できない可能性があるため、現状維持を目指したい。
旅行代理店（経営者）	・人口減少の影響が徐々に波及する中で見通しが立たない。大手企業の収益動向に振り回されているだけでなく、円高の動き等もあり、心理的に防衛本能が働き始めている。
旅行代理店（従業員）	・この夏は、九州旅行の客が激減する一方、それに変わる方面がそこそこ伸びる。
タクシー運転手	・客の話では、派遣・期間社員の待遇は、一向に改善されないという声がある。
タクシー運転手	・夜の繁華街では、人出の少ない状況が長い間続いているので、この先3か月も動きが変わることはない。
通信会社（企画担当）	・自動車関連企業が多い地域のため、大手自動車メーカーの燃費不正問題や熊本地震の影響は少なからず出てくる。
通信会社（営業担当）	・当面は、現状維持と思われる。
通信会社（営業担当）	・年度末にも動きが出なかったため、この先も良くなるとは思えず、横ばいが続く。
テーマパーク職員（総務担当）	・景気が上向きとなるプラス要因もなく、下向きとなるマイナス要因も見当たらない。
美容室（経営者）	・景気は、変わらないというよりは良くなる。消費税増税等、一般市民も考えることが増える時期となる。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・重度障害の人の利用者数は増加が見込まれるが、介護者の求人が思うように進まない。容易には利用者数を増加しづらい。
設計事務所（経営者）	・法人案件が小規模ながら少しずつ出てきている。住宅等の個人案件は、激減している。
住宅販売会社（従業員）	・しばらくは現状と変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・下請業者の話では、仕事量は減りも増えもしないとのことである。今後、仕事がなくなってしまうのではという不安感が大きく、休みを取ることが怖いという声を聞く。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・マイナス金利で今が借入のチャンスのはずであるが、それでもあまり変わらないのが実情である。
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・今まではリフォーム工事で売上を維持してきたが、5月以降は、新築物件の受注を数件確保している。
やや悪くなる	一般小売店〔薬局〕（経営者） ・人によっては10連休のゴールデンウィークで、例年どおり商店街が閑古鳥となる見込み。これから天候の影響を受けやすい梅雨に入り、不景気が更に悪化するのではと心配している。業界では、4月からの診療報酬の引下げで、収入の減少が懸念される。
	一般小売店〔書店〕（営業担当） ・新年度当初の受注期が終わり、通常期に移行する。
	一般小売店〔和菓子〕（企画担当） ・円高が進んでおり、景気の先行きとしては、悪材料が多い。
	百貨店（企画担当） ・熊本地震をはじめとする社会不安や、株価の不安定な動き等で、先行きには不透明感が増し、消費者の購買意欲は下がっている。食料品等の必需品には影響ないが、ファッション関連の衣料品等は、ただでさえ売上が減少傾向にある中で、より厳しい状況となる。
	百貨店（経理担当） ・熊本地震もあり、先行きの不透明感が今後も消費に影響を及ぼす。
	百貨店（販売担当） ・最近の客の動向は、徐々に来客数が減少しており、すぐに回復するとは感じられない。
	百貨店（販売担当） ・株安や経済の先行きに対する不透明感から、これまで好調だった富裕層の消費にも陰りが見え始めている。個人消費を喚起する材料に乏しく、当面は厳しい状況が続く。
	スーパー（店員） ・熊本地震で今後は農作物の価格に影響が出てくる。

スーパー（総務担当）	・食品メーカー各社では、春の新商品の売行きが例年よりも良くない。
コンビニ（企画担当）	・熊本地震の影響により、消費を抑える可能性がある。
コンビニ（企画担当）	・景気が悪いので消費税増税を先送りということになれば、景気がしばらくは回復しないという見方がはっきりする。ＴＰＰ等の規制緩和も先送りとなると、閉塞感も大きくなる。
コンビニ（エリア担当）	・たばこや一般商品の一部が値上がりし、コンビニでも商品の動きが悪くなっている。これから商品の値上げが続くと、販売が一層落ち込む。
コンビニ（商品開発担当）	・景気の減速が否めない。セール品を上手に購入する動きが根強く、この流れはしばらく変わらないと見込まれる。
衣料品専門店（販売企画担当）	・加工所の減少が、ここにきて大きく影響している。
家電量販店（店員）	・来客数が日を追って落ちている。今後もあまり期待できない。
家電量販店（店員）	・消費を抑える客が増え、来客数は減少する一方、富裕層は依然購入し、単価を押し上げている状況が続いている。欲しい商品があっても我慢する傾向が強くなっており、その傾向に変化があれば、全体的に良くなる。
乗用車販売店（従業員）	・車は、一度購入するとすぐには買換えない商品なので、新車購入を考える客は、非常に悩んで車種を決める。大手自動車メーカーの燃費不正問題が発覚し、この問題が落ち着くまで新車の検討を延ばすと客に言われた。すべての車に対して不信感もたれると残念であり、影響が拡大しなければと不安に思う。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・ボーナス支給の時期となるが、夏休みを抑えレジャーに金が行くことから、財布のひもは固くなる。客層は高齢者が多く、若年層を取り込むイベント等を企画しているが、人は集まっても販売にはつながらず、なかなか売上増加は見込めない。
スナック（経営者）	・熊本地震の影響は大きく、財布のひもは一層固くなり、景気回復は期待できない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・何か起爆剤となることがないと、当面は良くならない。
都市型ホテル（経営者）	・インパウンドの減少、景気の影響によるビジネス客の減少や消費の鈍化等が懸念される。
旅行代理店（経営者）	・夏の参議院選挙を抑え、経済の動きが更に鈍くなる。5月末の伊勢志摩サミットで、景気刺激策になるような政策を出してくれればと期待する。
旅行代理店（従業員）	・旅行需要はあるが、2泊したいところを1泊にする等、支出を抑える傾向が強まっている。伊勢志摩サミットの経済効果が全国で約1千億円と言われているが、実感はあまりなく、むしろサミットの前後1か月間は、三重方面を訪れる旅行者は減るのではと感じられる。
旅行代理店（従業員）	・客からの値引き要請が強くなる。
通信会社（サービス担当）	・光コラボレーション事業者の増加で、光回線の新規契約が増えるが、光回線への切替えで、固定電話の解約が今まで以上に増加する。
観光名所（案内係）	・夏の天気がどうなるかわからない。天候は、景気の先行きにも関係してくる。
パチンコ店（経営者）	・伊勢志摩サミットを抑え、新機種の設置がしばらくできなくなる。また、業界全体が低単価志向となっている。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・物が売れない。
理美容室（経営者）	・客との話でも、給与は上がらず、徐々に景気は悪くなっていく。
美容室（経営者）	・熊本地震の影響で、レジャー等に出かける人が少なくなる。仕事の面でも若干影響がある人もいるので、やや悪くなる。
設計事務所（職員）	・マイナス金利等、政策的に景気が上向くような話は聞かない。
設計事務所（職員）	・単純に、政治の状態が良くないので、経済が良くなるとは思えない。
住宅販売会社（従業員）	・熊本地震や、大手自動車メーカーの燃費不正問題で、販売エリアでは購入意欲が低下する。伊勢志摩サミットの終了後に、参議院選挙や消費税増税等の動きがあるため、客もその動向を見定めてからと考え、当面は停滞気味となる。
その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・例年に比べると公共工事の数が少ない上、発注価格が低いため、利益が出ない状態が続く。

	悪くなる	<p>一般小売店〔酒類〕（経営者）</p> <p>コンビニ（店長）</p> <p>コンビニ（店長）</p> <p>乗用車販売店（従業員）</p> <p>一般レストラン（経営者）</p> <p>理容室（経営者）</p> <p>住宅販売会社（経営者）</p>	<p>・熊本地震で当地区でも操業停止のメーカーがある。過去の経験から、その影響で外での飲食が減ることが見込まれる。</p> <p>・熊本地震で取扱商品の欠品が出ている、しばらくは出荷調整があるので、売上減少は避けられない。</p> <p>・大手コンビニチェーンではないため、商品構成以外にも電子マネーやポイント制度等、大手との格差が広がり、売上に影響している。</p> <p>・大手自動車メーカーの燃費不正問題が業界全体にどれだけの影響があるかわからないが、一抹の不安がある。また、東日本大震災から5年を迎え、当時売れた車の台数は少ないため、工場への在庫量の減少も懸念される。しばらくは非常に厳しい状況が続きそうである。</p> <p>・消費マインドの低下が続く中、熊本地震の影響で、天災時に備えるため一層の消費抑制が感じられる。</p> <p>・これからも、景気が良くなるようには思えない。</p> <p>・経済情勢の先行きがわからないので、客は買い控えをしている。</p>
企業 動向 関連  (東海)	良くなる やや良くなる	<p>-</p> <p>食料品製造業（経営企画担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（研修担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（総務経理担当）</p> <p>金融業（法人営業担当）</p> <p>その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）</p>	<p>-</p> <p>・伊勢志摩サミット関連の盛り上がりやポストサミットの経済効果に期待したい。</p> <p>・製鉄メーカー停止分の振替生産や、熊本地震の影響も2～3か月後には解消されるため、増産へと切り替わる。</p> <p>・熊本地震の経済への影響からは復旧する。中国経済が良くないという声もあるが、中国のスクラップ価格は少し上がっている。国内でもスクラップ価格は上がっている。</p> <p>・地元自動車メーカーの生産再開に伴い、取引先の部品メーカーの生産も回復が見込まれる。</p> <p>・原油価格はそれほど高くはならないと考えており、我が国の経済にとっては良い状態が続く。当社でも新製品を発表するため、大変忙しい状態が続いている。</p>
	変わらない	<p>食料品製造業（営業担当）</p> <p>パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）</p> <p>化学工業（総務秘書）</p> <p>化学工業（人事担当）</p> <p>窯業・土石製品製造業（社員）</p> <p>金属製品製造業（従業員）</p> <p>一般機械器具製造業（経理担当）</p> <p>電気機械器具製造業（企画担当）</p> <p>電気機械器具製造業（営業担当）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>輸送用機械器具製造業（品質管理担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（デザイン担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（経理担当）</p> <p>建設業（経営者）</p> <p>輸送業（経営者）</p> <p>輸送業（エリア担当）</p> <p>通信会社（法人営業担当）</p>	<p>・景気の上向き要因がなく、取引先等でも明るい話題が一切ない。しかし、今のところ、これ以上は下降することはないと感じる。</p> <p>・景気が今よりも良くなるといった情報はなく、取引先の受注量もあまり増えず、このままの景気が続く。</p> <p>・大きく景気にインパクトを与えるトピックが想定されない。</p> <p>・為替相場が景況感に大きく影響するが、今後2～3か月は円高傾向が続き、景気は低迷が続く。</p> <p>・従来からの製品の受注量は安定しているが、少しずつ減少している。しかし、新規製品が増えつつあるのでカバーできる。</p> <p>・今年度は期待できない、というムードを感じる。</p> <p>・電子部品製造装置に関連する受注が、いったん落ち着いてきている。</p> <p>・地域によっては売上が一層落ち込む懸念もあるが、今のところ想定範囲にあるため、全体としては横ばいかな緩やかな成長が続く。</p> <p>・景気に影響のありそうな要素が見当たらない。</p> <p>・為替次第であるが、ここ最近は良くなりそうな引き合い等も、急激な変動もなく、しばらくは先行きもこのままの状況が続く。</p> <p>・客先の生産計画から増加基調が見込まれる。しばらくはこのままの状況が続く。</p> <p>・先行きの仕事も順調に入ってきている。しかし特に多いともいえないので、現状からは変わらない。</p> <p>・販売数は今月と比較して大きな変動はない。新製品の立ち上げに伴うロスが発生する見込みであるが、想定範囲内で納まると思われる。</p> <p>・現時点ではまずまずの景気であるが、消費税増税が実施となれば、景気の腰折れは間違いない。</p> <p>・ゴールデンウィークに向けた消費財の動きも堅調に推移している。荷主からも特別な要請はない。</p> <p>・軽油単価が前年比で1リットル当たり約21円安くなっている。とても助かっているが、貨物の動きは、今一つ緩慢である。</p> <p>・日銀のインフレ目標達成の先送りや米国の利上げの見送り決定等、景気が上昇していると判断できる材料が見当たらない。</p>

		金融業（従業員）	・生産量や受注・納品の横ばいの動きから、今後についても大きな変動はないと見込む。
		金融業（企画担当）	・賃上げや個人投資家の保有資産の利益が出てこない、個人消費も活性化しない。
		不動産業（経営者）	・ここ数か月で変動するとは考えにくい。
		不動産業（用地仕入）	・景気を左右するような要因がみられない。
		企業広告制作業（経営者）	・景気対策は出尽くしており、産業構造の転換が必要である。ブランド認知度が購入動機を左右するが、最大手自動車メーカーを除く国内企業のブランド力は、横ばいが低下している。熊本地震の影響も大きい。消費税増税は見送られそうな気配だが、今後の景気回復の道筋がみえない。
		行政書士	・新年度からの受注量を維持しており、悪くない。
		会計事務所（職員）	・商品価格を安くすれば売れるが、長続きはしない。製造業を含めて、いかに売れる商品を作って売ることが、重要課題となっている。
		会計事務所（社会保険労務士）	・客先の売上は横ばいが増加であるが、積極的な設備投資にまでは至っていない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・継続性のある案件を確保する必要があるが、状況として先行きが全くみえない。ただ、案件が皆無ではないので、良いとも悪いともいえない。
	やや悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・内需拡大要因が少なく、今後も上昇していくムードにはない。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、先行きの販売状況は低調になる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・現時点で脈のありそうな引き合いがほとんどない。円高が進んでおり、価格競争力が弱くなっている。
		輸送業（従業員）	・熊本地震に伴う自粛ムードが全体的な景気低迷を招く。じわじわと上昇するガソリンや軽油の価格も、物流業界や生活者の旅行・レジャーにはマイナスとなる。
		輸送業（エリア担当）	・軽油価格が、1～2月の底値から徐々に上昇している。4月に入ってその傾向は強くなっており、5月も続く見通しである。こうした傾向がコストを押し上げ、利益が減ると、景気は停滞していく。
		輸送業（エリア担当）	・円安から円高に推移する可能性から、輸出を控える動きが見込まれる。
		輸送業（エリア担当）	・仕事量は増えているが、人材が集まりにくく、人件費が増加し利益は減少している。
		通信会社（法人営業担当）	・当社も取引先企業も、薄利多売しか需要を獲得する方法がなく、仕事量は増えるが利益は確保できない負のスパイラル状態である。政権与党の経済政策が、先行きを見据えたものではなく、夏の参議院選挙を見据えた単発で脈絡のないものに映るのも、働く人のモチベーション低下につながっている。
		広告代理店（制作担当）	・客からの受注減少と共に利益率が低下し、好転の兆しがなかなかみられない。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新入居のシーズンでも新聞購読数が増えない。
		公認会計士	・円安による材料費の高騰や人件費高騰等、中小企業の収益性の悪化する要素に改善が期待できない。また、熊本地震の影響が出てくる。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（代表）	・来年の消費税増税実施に向けた動きが強まっており、日増しに出稿者の意欲が減退している。取引先に関しては、景気回復の実感はない。
雇用 関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・前年10月以降は、常用雇用の派遣労働者の離職率が減少傾向にある一方、求人数は安定しているため、今後も緩やかに景気は良くなる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・求人数は前年同期比で100%を上回っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・就職情報会社から紹介される求人件数は、総数としては前年同期を上回り、社会全体での雇用情勢は改善している。ただし、業界や業種によっては前年以下のものもある。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・就職イベント等の出展社数や募集広告は増えており、期待感を持っている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・企業の採用意欲は高いが、求職者不足のため、思うようには採用ができない。
		人材派遣会社（営業担当）	・身近には経済面でポジティブに感じられる要素がない。

	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・熊本地震による大手自動車メーカーの生産ライン一時停止の影響が大きい。また、大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響は長引きそうで、今後の地域の自動車産業には不安が残る。
	職業安定所(所長)	・管内企業の景況を左右するような変化が、特に見受けられない。
	職業安定所(職員)	・熊本地震や燃費不正問題が、今後どのように影響するか不透明である。
	職業安定所(職員)	・景気の先行きが不透明である。
	民間職業紹介機関(窓口担当)	・求人数に対する人員不足の解消に、見通しが立たない。
	民間職業紹介機関(営業担当)	・夏にかけて新卒社員が順次配属されると、キャリア採用の必要性も出てくる可能性がある。
やや悪くなる	人材派遣会社(社員)	・今月が好調だったため、先行きはやや悪くなる。現状の予約状況もあまり良くない。
	新聞社[求人広告] (営業担当)	・熊本地震は自動車メーカーを中心に製造業や物流等に大きな影響を与えている。参院選選挙もあり、企業の採用活動や生産活動にはブレーキがかかる。早急に国が復興政策に取り掛かり、大量の予算投入をすれば、雇用と経済の拡大につながる可能性はある。
	新聞社[求人広告] (営業担当)	・海外では中国経済の減速、国内では熊本地震や参議院選挙の影響があり、明るい話題がない。
悪くなる	-	-